

平成 26 年「職員の給与等に関する報告及び勧告」のポイント

1 民間給与が市職員給与を上回るプラス較差792円(0. 19%)

- 本年の給与較差

民間給与	本市職員給与(※)	較差
418, 141円	417, 349円	792円(0. 19%)

(※) 行政職給料表適用者(新規採用者を除く) 平均年齢44. 9歳

- 市内民間事業所の事務・技術関係従業員(企業規模・事業所規模50人以上)と市職員の平成26年4月分給与を比較

2 月例給は、較差を解消するため、給料表の引上げを勧告(人事院勧告における改定傾向を考慮し、若年層に重点をおいた引上げ)

- 月例給の引上げ勧告は、平成20年以来、6年ぶり
- 平成26年4月1日から実施
- その他、交通用具使用者に係る通勤手当の引上げ(使用距離片道15km以上の区分)

3 期末・勤勉手当(ボーナス)の支給月数を4. 10月に引上げ(プラス0. 15月)

- 市職員の昨年度実績は3. 95月
- 民間の調査結果(昨年8月~本年7月)は4. 11月(前年比0. 16月増)
- ボーナスの引上げは、平成19年以来、7年ぶり

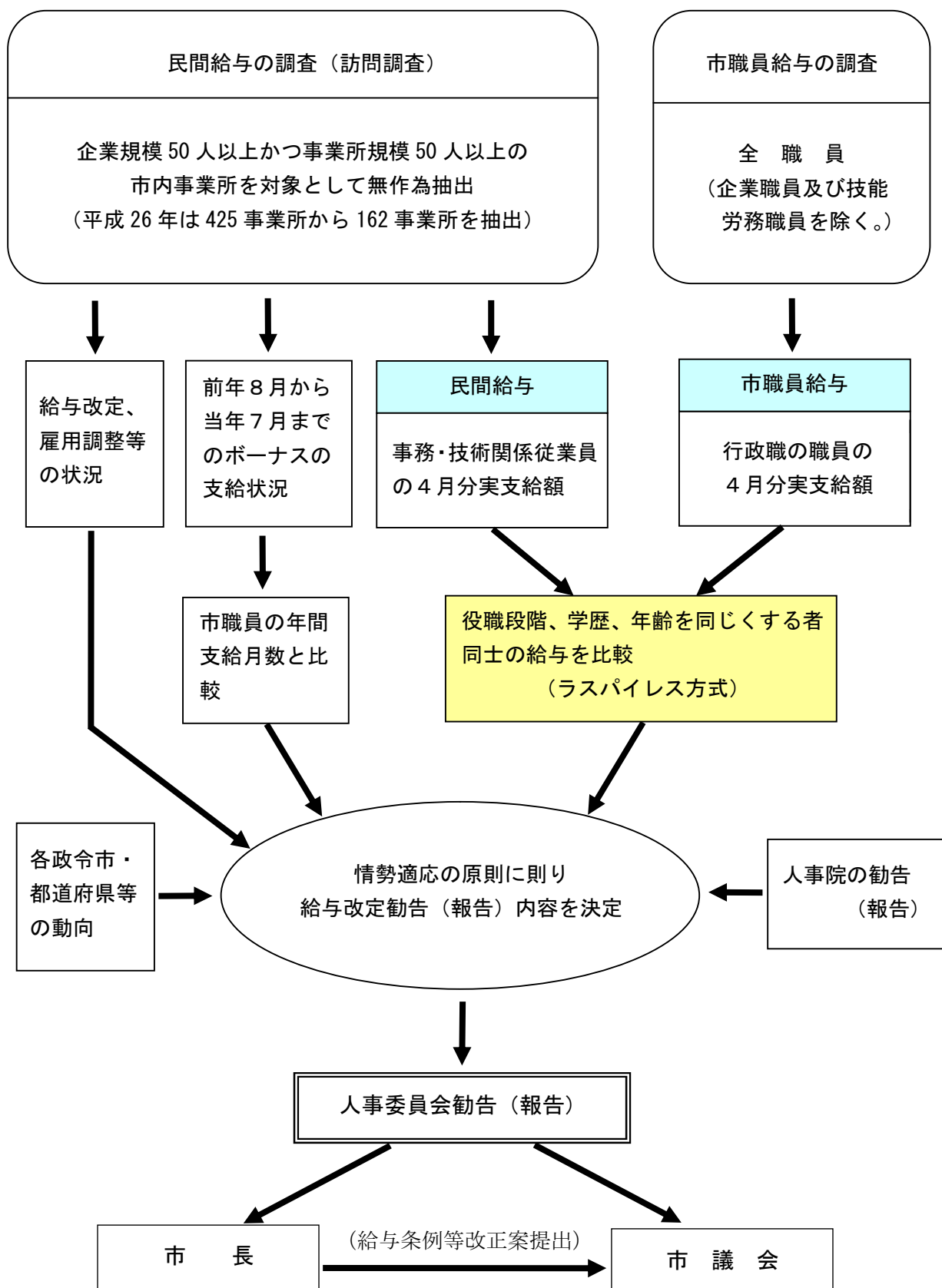
4 平均年間給与は7. 4万円(1. 12%)の引上げ

- 給与勧告等に伴う本市職員(※)の平均年間給与

勧告後	勧告前	増減額(率)
665. 2万円	657. 8万円	7. 4万円(1. 12%)

(※) 行政職給料表適用者(新規採用者を含む) 平均年齢44. 5歳

給与勧告（報告）の流れ



勧告率等の推移

年（度）	公 民 較 差		特 別 給			
			民調結果（報告月数）		市職員の年間支給実績	
	較差率（％）	金 額（円）	年間月数	前年比（月）	年間月数	前年比（月）
12年	△ 0.02	△ 95	4.74	△ 0.21	4.75	△ 0.20
13年	0.05	196	4.68	△ 0.06	4.70	△ 0.05
14年	△ 2.02	△ 8,548	4.64	△ 0.04	4.65	△ 0.05
15年	△ 1.27	△ 5,292	4.38	△ 0.26	4.40	△ 0.25
16年	0.16	676	4.39	0.01	4.40	0.00
17年	△ 1.96	△ 8,246	4.50	0.11	4.50	0.10
18年	0.31	1,289	4.47	△ 0.03	4.45	△ 0.05
19年	0.14	599	4.52	0.05	4.50	0.05
20年	0.41	1,717	4.49	△ 0.03	4.50	0.00
21年	△ 0.25	△ 1,071	4.16	△ 0.33	4.15	△ 0.35
22年	△ 0.21	△ 904	3.94	△ 0.22	3.95	△ 0.20
23年	△ 0.13	△ 551	3.97	0.03	3.95	0.00
24年	0.01	24	3.96	△ 0.01	3.95	0.00
25年	0.04	169	3.95	△ 0.02	3.95	0.00
26年	0.19	792	4.11	0.16	(4.10)	(0.15)

注 1 平成16年、18年、20年の各年4月から、市の職員給与について、地域手当を1％引き下げた。

注 2 平成17年から、公民比較において、通勤手当を外し、管理職手当を加えた。

注 3 平成18年から、民間事業所の対象を従来の「企業規模100人以上」から「企業規模50人以上」に改めた。

（特別給について）

注 4 特別給の民調結果は、平成15年報告までは「前年5月から当年4月まで」、平成16年報告以降は「前年8月から当年7月まで」の年間平均支給月数である。

注 5 特別給の市職員の年間支給実績のうち、平成26年については、人事委員会報告内容である。

公民較差について

【本市における公民較差(平成26年)】

行政職給料表 職員平均年齢:44.9歳

公民較差
792円
(0.19%)民間給与
418,141円

比較

職員給与
417,349円

【国における官民較差(平成26年)】

行政職俸給表(一) 職員平均年齢:43.5歳

官民較差
1,090円
(0.27%)民間給与
409,562円

比較

職員給与
408,472円